

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 3370104550 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 一寿会 | | |
| 事業所名 | グループホーム海の見える家2号館 | | |
| 所在地 | 岡山県岡山市南区小串823-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成30年11月19日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3370104550-00&PrefCd=33&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社東京リーガルマインド 岡山支社 | | |
| 所在地 | 岡山県岡山市北区本町10-22 本町ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成30年12月11日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然環境に恵まれ、居室やホールからは瀬戸内海の良い海が見える。家庭的な雰囲気の中で穏やかに安心して暮らすことができるよう、一人ひとりにきめ細かく対応した介護を心掛けている。職員が作る手作りの料理は、家庭的で皆様の満足度は高く、楽しんで召し上がってられます。共に食事をし、共に暮らす事で家族のような関係が生まれています。その中でその人らしい生活が続けられるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の一人ひとりが、その人らしく暮らし続けることができるように、本人の意思を尊重した支援に取り組んでいる。利用者が居心地良く、穏やかに暮らしていけるように、また、自分自身の思いを通すことができるように、職員は優しく見守っている。勤続年数の長い職員が多く、コミュニケーションも良く図られ、連携の体制が整っている。入居から10年を超える利用者もいて、生活を共にする家族のような関係となり、安心して過ごすことができている。毎朝体操をしたり、廊下での歩行訓練も行ったりと、一人ひとりの能力に合わせて奨励し、筋力低下を防ぐ取り組みも継続している。3度の食事や、誕生日のケーキ等を手作りし、利用者と一緒に職員も同じテーブルを囲み同じ物を食べている。家庭的な雰囲気の中で美味しいものを楽しく食べる「食事」を大切にしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 施設玄関に事業所理念をかかげ、管理者、職員はその理念を共有、実践につなげている。 | 「いつも楽しくほがらかに」という理念の実践に向けて、優しい介護を心掛けている。職員は言葉遣いや態度だけでなく、自身の表情にも気を配り、明るく過ごせる雰囲気作りに努めている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の方が収穫された野菜など持って、たずねて下さり交流している。 | お祭りの獅子舞の訪問があり、利用者も一緒に秋の行事を楽しんでいる。犬の散歩の時に挨拶を交わしたり、野菜を持ってきてくれたり、近所の人達との日常的な交流もある。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域では認知症の人の理解が得られ、秋まつりには、地域の方が施設を訪れて獅子舞、やっこさん踊りを舞って下さる。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で、ご家族から意見を伺い、サービス向上に活かしている。 | 消防署職員の参加を得て、心肺蘇生の手順、AEDの使い方、気道閉塞の応急処置等を学んだ。家族からは災害時の避難経験からの問題提起や、マニュアル整備の必要性の意見が出た。 | 行政・地域住民・家族の参加を増やす方法を検討して欲しい。様々な立場からの意見を聞き取り、地域からの有効な情報を活用し、利用者の生活の活性化に繋げていくことに期待を寄せる。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議の開催の連絡を行い、より一層の信頼関係を築くよう努めている。 | 地域包括支援センターから空き情報の確認や、入居の紹介があり、情報の共有を図っている。市職員とは顔馴染みの関係作りを心掛け、相談し助言を受ける等、連携体制を築くよう努めている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 代表者、全ての職員は、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 職員研修でも取り上げ、意識付けを図っている。現在は不穏状態の人はおらず、制止の言葉もあまり聞かれないうつだ。外に出たい素振りが見られる時は、庭に出たり、ベンチに座ったりして行動の抑制を避けている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 管理者や職員は高齢者虐待防止関連法について学び、虐待が見過ごされる事がないように注意を払って防止に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、必要と思われる方に支援している。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約の内容や重要事項の説明を行い、理解・納得を図っている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議でご家族の意見を伺っている。又、外部者によるアンケートを実施している。 | 毎月手紙で、普段の様子を伝えている。現状理解から意見や要望を聞き取ることができるよう、面会時にも積極的に話しかけている。生活の様子や行事の写真をアルバムに収め、家族にも見てもらっている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定期的に会議を開き、職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させている。 | 業務の分担や時間等も、職員全体で話し合い、改善に向けて検討されている。正月出勤、行事やカンファレンス参加等の手当ても付くようになり、職員の努力を評価し、職員が向上心を持って働けるように就業環境の整備が進められている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 管理者や職員の努力、実績、勤務状況を把握し、向上心を持って働けるよう、職場環境、条件の整備に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会をもうけている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を与えている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご家族からの情報や、ご本人から話を伺って安心できる関係を築いている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族が困っている事など要望を伺って信頼を得られるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人、ご家族に本当に必要とされているサービスか。他のサービスの利用も含めた対応に努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ご本人にとって必要と思われる事を手助けし、共に生活する関係を築いている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族の協力を得て共に支えていく関係を築いている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。 | 家族の協力を得て、墓参り、外食、買い物等に出かける人もいる。自宅に帰ることもある。知人や従妹等の来訪があり、お茶を出して、楽しい会話の場所を設定し、継続的な交流ができるように支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立しないように努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用が終了しても、ご本人ご家族の経過を伺って関係をつなげている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人の暮らし方、意向を把握して、本人の意思を尊重している。 | 自分流を貫く利用者が多い。職員はその人らしい暮らし方が継続できるようにと考えて、対応している。思いを汲み取る事ができれば、実現に向けて検討している。得意だったことや、好きなことを提供し、生きる力を引き出す支援に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人の今まで過ごしてこられた暮らし方、生活歴の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの心身の状態、有する力等の把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | カンファレンスをもとにチームで現状に即した介護計画を作成している。 | 6ヶ月毎に見直し、更新時や、状況に変化があった時に作り直している。毎月の会議でカンファレンスを行い、職員全員で意見を出し合っている。利用者主体の暮らしを反映した計画作成に努めている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録により職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ニーズに対応してサービスの多機能化を考えて行こうと思っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアの訪問を受けて、心身に良い影響を受け、暮らしを楽しむ事ができるよう支援している。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人、ご家族の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と適切な医療を受けられるよう支援している。 | 入居前からのかかりつけ医を継続して受診する人もあり、希望する医療機関での受診を支援している。提携医の往診が月に2回ある。医師が毎日訪問してくれる仕組みになっており、体調の変化を相談することもでき、医療面での安心に繋げている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 介護職は情報や気づきを看護職に伝えて相談し、利用者が適切な受診が受けられるよう支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時、医療機関と情報交換や相談に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご家族と重度化、終末期に向けた方針を話し合い、理解が得られるよう努めている。 | 事業所としてできる限りの対応について入居時に説明し、家族の納得を得ている。重度化に伴い医師と話し合い、施設や病院を選ぶ家族が多い。それまでは最大限の支援で取り組んでいる。経管栄養状態で退院したが、1匙ずつの職員の気長な介助で2週間で食べられるようになった例もある。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変や事故発生時にどう対応するか職員間で話し合っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難訓練を実施している。 | 年2回、避難訓練を行っている。10月は夜間の大雨土砂災害避難勧告を想定し、車で系列施設の研修所まで避難訓練を実施し、所要時間を計った。消防署職員が運営推進会議に参加し、情報の共有を図り、災害時対策を話し合っている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。 | 誇りを傷つけないよう、丁寧な言葉遣いや対応に努めている。ろう便行為も本人の気持ちを大切に考え、職員間で対策を話し合っている。職員間の伝達は小声で行い、記録にイニシャルを用いる等して、プライバシー保護にも留意している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者の意思を尊重し、自己決定していただけるよう支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人の生活のペースに合わせた支援を心がけている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 化粧される方、毛染を希望される方、洋服の組み合わせの相談にも応じている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | ご本人にできる事をしていただき、テーブル拭き、お茶を入れられたり、一緒に食事の準備を行っている。 | 季節の食材を使った家庭料理が手作りされている。美味しいご飯を食べてもらいたいと主食の米にこだわり、毎日その日に精米している。調理する職員の姿を目にし、調理の音や匂いに満たされ、食事への関心と楽しみが引き出されている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 水分が摂れない方は水分量をチェック。少ない方には声かけをして一人ひとりの状態を把握して支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ご本人の力に応じた口腔ケアを行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 一人ひとりに対応した声かけ、見守り、介助を行ない、トイレでの排泄を支援している。 | 一人ひとりの排泄パターンや能力に応じて、できるだけトイレで気持ち良く排泄できるように支援している。夜間にポータブルトイレを使用する人もいる。自尊心に配慮し、失敗を少なくする為に早目の誘導を心掛けている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 一人ひとりの状態を把握して、その方に合った方法で予防に取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | ご本人の希望にそった対応を心がけている。 | 日曜日を除く毎日、午後から4～5人の入浴を支援している。隔日に入浴でき、夏場は夕方のシャワー浴の対応もできる。着替えの準備や着脱も、本人のペースに合わせて行い、くつろいだ気分で入浴できるように気を配っている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとり、生活習慣に合わせて安心して眠れるように支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の目的や用法について理解して、服薬の支援と症状の変化を確認している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりの役割や楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるように努めている。 | 春と秋に手作り弁当持参で、季節の外出を楽しんでいる。今年度はサーカスにも出かけた。近所を散歩したり、玄関先のベンチに座ったりして、外気に触れる機会も作っている。ベンチでお喋りをしたり、歌を歌ったりして気分転換を図ることも多く、新しくベンチを2脚購入した。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金は施設で管理しているが、ご本人の要望があれば使えるように支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人がご家族、ご友人に電話をかけられたり、手紙を出すことができるよう支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールではくつろげるように、トイレ等は清潔に気持ちよく使用できるように、玄関には季節の花を飾り、季節感を得られるように工夫をしている。 | 海が見える窓辺に椅子が置いてあり、思い思いの場所でくつろいで過ごすことができる。快適室温の目安が事務所に掲示しており、職員は温度・湿度・換気に気を配っている。外出や誕生会の時の笑顔の写真が貼っており、自分の居場所として落ち着いて過ごすことができる空間になっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 一人ひとりに気に入りの居場所があり、くつろいで過ごされている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人の使い慣れた物や好みの物を置いて安心して過ごせるようにしている。 | 自宅で使っていたタンスや椅子を持ち込んでいる。仏壇を置いたり、遺影やぬいぐるみを飾ったりし、その人らしく暮らせる居室作りをしている。寝る向きや起き上がる向き等、本人の習慣に合わせてベッドの位置を検討している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 安全に生活できるように手摺りなどをもうけている。トイレなどにはわかりやすく表示している。 | | |